

平成27年度

事業報告書

・法人本部

社会福祉法人 交楽会

平成27年度 社会福祉法人交楽会 事業報告

平成27年度において、社会福祉法人交楽会が実施した事業について、下記のとおり報告します。

(1) 運営事業

1. 第1種社会福祉事業

- (1) 障害者支援施設 森幸園
- (2) 特別養護老人ホーム 森泉荘

2. 第2種社会福祉事業

- (1) 介護老人保健施設 もりよし荘
- (2) 森泉荘老人短期入所施設
- (3) もりよし荘在宅介護支援センター
- (4) 認知症対応型老人共同生活援助事業 (もりの家・もりの郷)
- (5) 老人デイサービス事業 (もりの郷)
- (6) 障害者福祉サービス事業 (もりの郷)
- (7) 相談支援事業

3. 公益を目的とする事業

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 居宅介護予防支援事業

(2) 役員会開催状況

理事会6回、評議員会3回開催し、それぞれの議案について審議しました。

役員、評議員の任期が今年度満期を迎えたため5月の評議員会、理事会で新たに選任しています。理事定数を9名→8名、評議員定数を19名→17名へ変更しました。第2回理事会で成田陸雄理事長職務代理が新理事長に就任しました。

(3) 役員研修・役職員交流会

6月11日「交楽会新任役員評議員基礎研修会」に9名参加、8月26日「秋田県経営者協議会主催 監事研修会」(秋田市)監事2名・職員1名参加、10月29日～30日「秋田県経営者協議会主催 役員研修会Ⅰ」(秋田市)に役員8名・職員5名参加、11月25日～26日「北海道・東北ブロックセミナー」(山形県山形市)に役員4名・職員5名参加、1月26日「秋田県経営者協議会主催 社会福祉法人制度改革対応セミナー」(秋田市)理事長・職員1名参加し研修を受講しています。また11月13日マイナンバー説明会及び役職員交流会を実施し、役員等11名、職員132名の参加がありました。

(4) 人事異動・採用・退職

- ① 27年度は、4月1日付で森泉荘に新施設長が就任したほか3名の人事異動を実施、正職員には12名採用しています。また年度中に正職員7名が退職(うち定年4名～28年度再雇用3名)しました。
- ② 新卒者等の正職員採用試験を実施し、10月一次試験(筆記)、11月二次試験(面接試験)を行い一次試験5名受験、二次試験3名受験しました。介護職員1

名を合格とし他2名は臨時介護職員として平成28年4月1日から採用しています。

(5) 法人指導監査

2月24日北秋田市による社会福祉法人指導監査を受けました。指摘事項はありませんでした。

(6) 社会保険事務総合調査

1月14日鷹巣年金事務所による立ち入り調査を受けました。社会保険加入要件に該当する職員が全て被保険者になっているかどうか等の調査があり、指摘を受けたところは速やかに改善しました。

(7) 運営体制の強化と安定経営

平成27年度から本部専任を1名増員し2名とし、福利厚生関係は本部で対応できる体制に移行しています。

特別養護老人ホーム森泉荘の増床計画は北秋田市から選定されなかったが、サポートホームであいの家の建設計画は国から承認され、建築中です。

公認会計士による外部監査を初めて取り入れ、森幸園、森泉荘で実施。適正な業務と運営の透明性を図りました。

燃料や公用車の保険等、法人で一括して契約することで経費の削減に努めています。

今後も業務の見直しと集約を各施設と連絡・連携を図りながら進め、管理体制の強化と安定経営に務めます。

(8) 今後の課題

- ①社会福祉法人改正に対応した経営組織のガバナンス(統治、自主的・自立的な福祉事業経営)強化及び課題分析・対応策の検討
- ②交楽会全体の職員配置、人件費適正化の検討及び人材確保、人材育成
- ③地域住民のニーズに対応した事業計画の検討
- ④計画的な積立金の確保

○理事会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	5月29日(金) 15:00	理事10名、監事2名
第2回	6月1日(月) 10:00	理事7名、欠席1名、監事2名、
第3回	10月20日(火) 14:00	理事7名、書面1名、監事2名
第4回	12月16日(水) 15:00	理事8名、監事2名
第5回	3月7日(月) 15:00	理事8名、監事2名
第6回	3月28日(月) 14:00	理事8名、監事2名

○評議員会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	5月29日(金) 10:00	14名出席、5名欠席
第2回	12月16日(水) 10:00	16名出席、1名欠席
第3回	3月28日(月) 10:00	15名出席、2名欠席

○役員協議会

回数	日 時
第1回	5月12日(火)14:00~15:00

○三役会・二役会

回数	日 時
第1回	5月22日(金) 15:30~15:00
第2回	2月5日(金) 13:30~15:20
第3回	2月17日(水) 13:00~14:30

○施設長会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	7月24日(金)	第4回	10月26日(月)	第7回	2月9日(火)
第2回	8月25日(金)	第5回	12月21日(月)	第8回	2月12日(金)
第3回	9月29日(火)	第6回	2月5日(金)		

○マイナンバー説明会及び役職員交流会

日 時	参 加 者
11月13日(金)17:00~20:20	マイナンバー説明会 役員等11名、職員115名計126名 役職員交流会 役員等11名、職員132名計143名

○評価作業部会

回数	月 日	回数	月 日
第1回	12月24日(木)	評定者研修	1月27日(水)

○役員研修会

	月日	研修名	主催	開催地	内 容	参加者
1	6月 11日	交楽会新任役員・評議員基礎研修会	交楽会	本部	・交楽会新任役員・評議員基礎研修会 交楽会事業内容、予算、施設見学	(理事) 片岡嘉代子 (監事) 石崎國人 (評議員) 土佐良成 原田敏美 志伯里美 九嶋圭子 森川勇一 三浦テツ 北林惇吉
2	8月 26日	監事研修会	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・「社会福祉法の改正と監事の役割について」 ・「監事監査の実務上の留意点」 ・「監事監査の監査計画と監査報告書作成実務」	(役員) 庄司佳徳 石崎國人 (職員) 石川眞利子
3	10月 29日～ 30日	社会福祉法人役員研修会Ⅰ	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・「社会福祉法改正の概要と経営課題」 ・「社会福祉法人の経営のあり方について」 ・「速報-改正社会福祉法と社会福祉法人の未来と将来」	(役員) 成田陸雄 渡辺美喜夫 湊健児 加賀隆久 春日正一 高杉義博 庄司佳徳 石崎國人 (職員) 柏木正人 佐藤祥彦 土濃塚廣孝 滝澤葉子 石川眞利子
4	11月 25日～ 26日	全国経営協「北海道・東北ブロックセミナー山形」	山形県社会福祉法人経営者協議会	山形市	・「社会福祉法人の課題と動向について」 ・「“改正社会福祉法”と社会福祉法人の未来と将来」 ・「いのちと向き合う」 ・「地域とつながった福祉活動」	(役員) 成田陸雄 湊健児 高杉義博 庄司佳徳 (職員) 柏木正人 佐藤祥彦 土濃塚廣孝 滝澤葉子 石川眞利子
5	1月 26日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	・「各法人における社会福祉法改正への対応～施行に向けた準備」 ・「財務規律の課題～社会福祉充実残額の具体的算定方法」	(役員) 成田陸雄 (職員) 石川眞利子

○外部監査

依頼先：北林会計事務所(秋田市)

月 日	対象施設	監 査 内 容
9月16日(水) 10月7日(水)	森幸園	①平成26年度計算書類の閲覧 ②領収証用紙の発行・管理状況 ③利用者預り金帳簿残高の点検 ④作業班の売上金の現金管理状況の点検
9月18日(金) 10月9日(金)	森泉荘	①平成26年度計算書類の閲覧 ②領収証用紙の発行・管理状況 ③利用者預り金管理規程の運用状況の点検 ④ショートステイ利用者に関する預り金の取扱い状況の点検

○苦情解決

○苦情解決第3者委員(3名)

・原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子

任期：平成26年6月1日～平成28年5月31日(2年)

【相談コーナー開催日】

回数	日時	内 容
第1回	7月31日(金)	もりよし荘(夕涼み) 第3者委員～3名
第2回	9月10日(木)	森泉荘(敬老式) 第3者委員～3名
第3回	9月27日(日)	もりの郷(家族会総会) 第3者委員～2名
第4回	10月3日(土)	森幸園(たんぽ会) 第3者委員～2名

※苦情解決担当者会議～平成28年3月11日(金)

(理事長、第3者委員3名、各施設苦情解決責任者及び苦情受付担当者13名)

【苦情等受付状況】

施設名	苦情・相談区分	申出者	内 容	解決状況	第3者委員への申出
もりよし荘	・相談	・夫	・年金収入だけで、施設の支払いは大変なので補助がないか。	・相談のみ(現状では無)	・無
	・相談	・本人	・自分の体が不自由なので今後のことが心配。	・悩み事を聞いてもらいたかった。	・無
森幸園	ご意見	・森幸園親の会会長(母親)前会長	・昨年度60歳定年退職で6名で何名か残られたようですが、ベテランの人が少なくなり心配です。ベテランの方が残れるように65	・意見を聞いてほしい。	・無

施設名	苦情・相談区分	申出者	内 容	解決状況	第3者委員への申出
			歳定年になるよう制度の変更ができないものか。安心して預けることができる。個人的な意見である。		
森泉荘	・相談	・ご家族	・大事に洗濯をしてもらっているが古くなったら交換してもいいのではと思っている。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・ご家族	・これからここでお世話になりたい。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・ご家族	・このようなところをもっと大きくして多く入所できるようにしてもらいたい。自分も年を取り行く末が心配だ。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
もりの郷	・相談	・本人	・多少の物忘れがあるが、家に帰りたい。家のことが心配、長男のことが心配である。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・本人	・生活は楽しく過ごしている。家のことは心配していない。子供たちが休みのときは来てくれるが、内々は家に帰りたい気持ちがある。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・本人	・娘夫婦が亡くなり孫夫婦が子供を育てているのを苦しめている。夜はぐっすり眠っているが心配でどうしようもない。周りは皆耳が聞こえず大変だ。	・話を聞いてもらいたかった。	・無
	・相談	・本人	・現在楽しく過ごしている。息子も時々面会に来てくれるし、体調も良い。皆さん親切で暮らしやすい。	・話を聞いてもらいたかった。	・無

平成27年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
介護老人保健施設 もりよし荘

平成27年度 介護老人保健施設もりよし荘 事業報告

◎施設運営

利用者個々のサービス計画に基づき、多職種協同で必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供し、有する能力に応じ、安心な生活が続けられるよう支援に努めている。地域との交流を深めるため、レクリエーションや行事案内、ボランティアの協力を積極的に行い、特に夕涼み会、地域福祉講座では多くの皆さんに参加頂き実施することが出来た。年間の利用状況は、入所・通所ともに計画目標には達せず、短期入所と通所リハビリ事業は前年利用者数からも下回った。管理・運営においては、施設設備の老朽化対策として、冷却塔の更新、エレベーターのワイヤー交換を行い改善を図った。また日本財団の補助金を活用して車椅子対応型軽自動車を購入している。今後も、利用者確保が厳しくなっている現状を踏まえ、援助を要する方々から選んで頂ける施設であるために、職員の資質向上、地域や関係機関と連携したサービス提供に努めます。

◎重点目標取り組み報告

・入所・短期入所

① 各専門職によるチームケアの充実

カンファレンス（各専門職による協同会議を月・水・金曜日の午後から開催）において、それぞれ専門的知見から定期的にサービス計画（ケアプラン）の見直しを行い、状態の改善に繋がるよう努めた。また、新規利用にあたっては、事前に可能な限り情報収集に努め、ご家族も含め安心・円滑に利用開始出来るよう努めた。

② 地域包括ケアの推進

住み慣れた地域において、在宅生活が可能な限り継続出来るよう、北秋田市地域包括支援センター並びに各関係機関との連携を深め、老人保健施設としての機能発揮に努めた。在宅生活の支援から始まり、看取り期まで幅広い対応を求められる中で、研鑽を重ねながら地域包括ケアの推進を目指した。

③ 多職種連携による生活能力の向上

日常生活能力の改善、向上を目指し、リハビリ専門職を中心に訓練の場だけでなく、日常生活の場面においても、それぞれ対応する職員の協力を得ながらサービス提供にあたった。多職種連携の意義を再認識し、ユニット内で情報の共有に努め、目標に対しよりきめ細かな対応を心掛けた。

④ 訪問リハビリ事業の実施

昨年度に引き続き北秋田市から介護予防型訪問リハビリ事業を受託しサービスの提供を行った。延べ回数25回、対象者は阿仁地区から鷹巣地区までほぼ北秋田市全域に及んだ。

⑤ 利用率の向上

目標利用率95%に対し実績94.1%であった。上半期を93.3%で折り返しており、下半期は改善に努めたが年間の目標には届かなかった。ここ数年、冬期間利用された方が春になり在宅復帰されると、その後、速やかな入所に結びつかず、利用率は目標に対して年度当初から厳しい状況が続いている。

- ⑥ 看取り体制の充実
施設で看取りを行ったケースは11名（昨年度10名）（内ターミナルケア加算算定7名（昨年度7名））であった。施設での看取りの中でグリーフケア（遺族の悲しみを癒すケア）等への取り組み等、職員も常に誠心誠意、真摯に対応する姿勢が求められる。
- ⑦ 関係法令の遵守
高齢者虐待、身体拘束、個人情報等の関係法令を遵守しサービス提供に努めた。特にマイナンバー制度の開始にあたっては、施設における取扱いの範囲が定められているため、細心の注意を払いながら、情報漏えいに繋がらないよう取り組んだ。
- ⑧ 感染予防
感染予防委員会を中心に職員一丸となって感染症（主にインフルエンザ、ノロウイルス）の予防に努めた。ご家族には流行期になると面会規制でご迷惑をお掛けしているが、理解して下さる方も多く特に苦情等は聞かれなかった。
- ⑨ 職員の資質向上
内部・外部研修（全体、ユニット内、委員会）の充実を図った。内部研修では各ユニット内で月ごとに研修担当者を定め取り組んでいる。外部講師による施設内研修を2回（スキンケア、感染対策）行った。外部研修においては近年施設数の増加により研修参加が見送られるケースも出ている。本年度は介護福祉士2名が合格した。
- ⑩ 接遇マナーの向上
毎年接遇マナーの向上に向け取り組んでいるが、基本的な施設職員としての振る舞い、言葉使い、服装等、常に初心を保ち続けることの大切さを感じている。来年度以降も研修の機会を継続し、接遇マナーの向上に努めたい。

・通所リハビリテーション

- ① 目標利用率70%に対し65.0%の実績であった。利用率の向上を目指したが、新規利用が伸び悩み、目標を割り込む結果となった。
- ② サービス計画を軸に在宅生活が継続出来るよう、状態の改善に努めた。担当者会議で、状態報告、ご家族の意向も尊重しながらサービス提供にあたった。
- ③ ご家族及び関係機関との関係性を大切にしながら、迅速、確実、誠実な情報提供を心掛け事業所としての信頼が得られるよう努めた。
- ④ 日頃から職員間で危機意識を保ち、予防策を講じるなどした結果、大きな事故、感染症もなく1年を経過することが出来た。

・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

- ① 利用者件数の確保に努めたが微増に留まった。
- ② 各関係機関との連携に努め、認知症対策、地域包括ケアの推進を図った。

事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 もりよし荘便り(かけはし)発行 6日 業務用洗濯機・乾燥機保守点検 8日 電気保安協会電気設備点検 10日 秋田県議会議員不在者投票 44名実施 12日 開設記念日(24回目) 16日 運営会議 17日 春のグリーンアップ 22日 大館市長・議会議員不在者投票 3名実施	6日 理容の日 13日 美容の日 20日 感染症対策面会規制解除 21日 理容の日 23日 花見ドライブ～各ユニット28日まで
5月	7日 役職会議 18日 職員健康診断(保健事業団) 21日 運営会議 25日 ワックスがけ～7/22日まで // 自動ドア保守点検 26日 安全運転管理者講習会	7日 米内沢小運動会前々日祭(踊り披露) 8日 米内沢祭典・神輿見学 11日 美容の日 18日 理容の日 25日 美容の日 // ふじドライブ 27日 チャレンジデー 北欧の杜歩行訓練 28日 比内養護学校たかのす分校交流会 通所
6月	1日 電話設備点検 2日 消防設備点検 4日 電気設備点検 11日 冷却塔更新工事(～16日) 16日 窓ガラス清掃(～17日) 18日 役職会議 // 運営会議 24日 外部講師研修「スキンケア」(㈱リブドゥ) 25日 総合避難訓練 27日 県北老健施設野球大会(大館市樹海ドーム)	1日 理容の日 6日 第8回もりりんピック 8日 美容の日 9日 通所ドライブ開始(～7月9日 延べ41名参加) 15日 理容の日 22日 美容の日
7月	1日 市委託訪問リハビリ事業開始 8日 浄化槽法定検査 9日 灯油地下タンク清掃点検 16日 運営会議 22日 灯油地下タンク通気管工事	6日 理容の日 13日 美容の日 // ふきユニット昼食買い物 27日 美容の日 31日 夕涼み会 柏木妙子ショー // 苦情解決相談コーナー
8月	20日 運営会議 // 献血車来荘 21日 冷暖房用ボイラー煤煙測定	3日 理容の日 10日 美容の日 13日 米内沢共勇会獅子踊り 24日 美容の日 ※ お盆帰省利用者～外出9名、外泊10名
9月	2日 老健全国大会 厚生労働大臣表彰 ～3日 6日 秋田県老健バレー大会 天王総合体育館 7日 厨房冷蔵庫・保管庫保守点検 9日 簡易専用水道検査(保健事業団) 17日 運営会議 // 貯水槽・通所FF暖房器清掃点検 18日 空調冷暖切替 24日 自動ドア点検 25日 エレベーターワイヤー交換工事	7日 理容の日 11日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 14日 利用者結核検診(直接・間接) // 美容の日 24日 100歳御祝い伝達式1名(県・市) // 比内養護学校たかのす分校交流会 通所 27日 100キロマラソン応援 28日 美容の日

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより(かけはし)発行 6日 地域福祉講座「脳卒中から身をまもろう」 8日 レジオネラ水質検査(一般浴 特浴 ボイラー) 9日 介護用備品搬入(電動ベット、車椅子) 11日 介護支援専門員資格試験日(2名) 15日 電気設備点検 16日 秋のクリーンアップ 21日 役職会議 // 運営会議 // 職員会議 26日 合同会議 28日 夜勤職員健康診断	5日 理容の日 8日 JAコンサート 合川体育館 3名 9日 通所ドライブ開始(~11/16 延べ34名) 12日 美容の日 16日 ふじユニットドライブ 20日 みずユニットドライブ 21日 昼食 きりたんぼ 23日 ふじユニットドライブ 26日 美容の日 27日 みずユニットドライブ 31日 ふきユニットドライブ
11月	1日 大型加湿器2台(5ヶ月間レンタル)設置 11日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 // 能代市児童民生委員協議会視察28名 13日 精神保健北秋田支部総会 19日 運営会議 25日 職員インフルエンザ予防接種(27日、30日) 26日 外部講師研修「感染対策」キョーリン製薬(株)	2日 理容の日 5日 比内養護学校鷹巣分校中学部交流会 通所 // 結核健診精密検査5名(16日3名) 9日 美容の日 17日 理容の日 24日 感染症対策のため面会規制開始 25日 インフルエンザ予防接種(~入所者89名実施)
12月	3日 消防設備点検 4日 安全運転100日チャレンジ表彰 14日 浴室清掃 17日 運営会議	3日 みずユニット昼食だまっこ鍋会 5日 なまはげ太鼓鑑賞(鷹巣交流センター16名) 7日 美容の日 // エステシヤン(美容ボランティア)来荘 24日 クリスマス会 28日 餅つき大会 31日 大晦日 年越しそば ※ 感染症対策のため正月帰省中止
1月	4日 施設長年始訓示 14日 特殊浴槽点検 21日 運営会議 24日 介護・社会福祉士国家試験日(5名受験) 26日 エレベーター保守点検 29日 業務用大型洗濯機・乾燥機保守点検 30日 リフト2号車リコール修理	2日 各ユニット新年会 12日 美容の日 18日 理容の日 25日 美容の日
2月	5日 業務用大型冷蔵庫更新 17日 暖房用ボイラー煤煙測定 18日 運営会議 19日 業務用パソコン14台更新 24日 日本財団助成車両(軽リフト車)納車式	1日 理容の日 3日 節分 各ユニット豆まき 8日 美容の日 15日 理容の日 22日 美容の日
3月	6日 介護福祉士2次試験(2名合格) 7日 役職会議 17日 運営会議 29日 職員会議 30日 居宅介護支援事業所引越し	3日 各ユニットひな祭り 7日 理容の日 14日 美容の日 // 理容の日 31日 面会規制(レベル2継続)

平成27年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
障害者支援施設 森幸園

【事業・運営】

1、総括

利用者支援について、高齢・重度化が進むにつれて、身体的機能低下による転倒等で入院する利用者も増えた。さらに入院すると長期に至り、定員に満たない月日が長く続き、収入減に繋がってしまった。

感染症に付いては、十分注意していたが、1月に感染性胃腸炎が大流行し、保健所の指導下対策に努めたが利用者33名が感染し、日中活動や行事の自粛に繋がってしまった。

事業面では、震災時の教訓から最低限の電力確保する為に簡易的な非常用発電装置(小型発電機2機、非常灯・コンセント設備等)を設置した。今後も非常時に備えて整備して行きたい。その他積雪対策として、軒先融雪ヒーターの設置やローダーの代替えを行った。

第三者評価について、今年度で9回目の受審だが、3年間同じ業者だった為新たな角度からの気づきを期待して業者を変更した。利用者聞き取り調査や職員説明等、今までと違った形での調査と指摘をしてもらった。今後も受審継続し、外部目線での色々な指摘を受けたい。

2、重点事項

(1) サービス提供体制の推進

サービス利用計画の作成依頼があり、個別支援計画書を作成したが反映できないケースもあった。相談支援専門員とサービス管理責任者が連携し本人のニーズに沿った計画書を作成し定期的に検証した。入院利用者や精神面、身体機能が変化した利用者に対しては早期に計画書の見直しを行いサービスの改善を図るようにした。

(2) 利用者に適した生活支援の対応

四季折々の変化や家庭的雰囲気少しでも感じて貰えるよう、季節ごとに居室やディールームの飾り付けや居室空間の模様替え及び整備に努めた。定期的に個々の要望に応えた個別外出やグループ外出、ボランティア外出は実施してきたが、後期は感染症拡散防止のため、外出を控える時期も称した。高齢による身体的機能低下により、不足がちな栄養を摂取出来るよう、柔らか食材(カットグルメ)の提供に努めた。

(3) 日中活動の充実

利用者の体力や健康を考え、活動の場の変更を行いその人に合った活動の提供に努めました。また、重度高齢化に伴い福祉用具を活用し、活動の充実に取り組みました。

生産活動に於いては、一部受託作業が途切れた機関があったが、野菜や果樹、採卵鶏など概ね順調に推移しました。就労B型は、比内地鶏も順調に生育し、椎茸と共に販売も好調で昨年より売上げのアップに繋がりました。

(4) リスクマネジメントへの取り組み

各ユニット及び街において年3回KYT基礎4R法を用いて危険予知訓練を実施し、気付きの感性を高める意識付け強化に取り組んだ。また、風通しの良い職場作りを目指し、職員同士がどんな事でも話せるような環境作りにも努めた。

(5) 職員の資質の向上

利用者の高齢化、重度化が進む中で「介護技術の外部講師研修会」開催や業者による「介護器具説明会」を実施。各ユニットに於いては課題を提案、話し合いから統一した対応と支援に取り組んでいる。又、毎月実施される虐待防止委員会には、各ユニットから提出された虐待行為や不適支援の内容について検証し、全職員にフィードバックされ気付きと良い支援に繋がりを、風通しの良い職場環境を意識した取り組みに努めた。

(6) 地域や家族との連携強化

利用者が地域の一員として、地域交流会や各種奉仕活動への参加。後援会活動、防災活動、消防団や自治会との協力が出来ました。更に重度利用者が地域住民ボランティアを活用した個別外出を行い、生活の充実と自己選択の喜びを得る事が出来ました。又家族会総会やたんぽ会、懇親会を通して情報の共有や報告会を行い、信頼関係の向上に努めました。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	1日 辞令交付・理事長訓示 17日 やまね会総会 (会員35名、理事長、他職員6名) 25日 森吉家族会総会(36家族43名職員14名) 27日 第1回勉強会(36名・①相談支援事業 ②報酬の改定、記録)	12日 思いやり自治会総会(68名) 12日 県議会選挙投票(22名) 29日～5月2日 活動毎に観桜会
5月	8日 北秋田まち美化活動認定書締結 18日 職員健康診断 21日 地域との防災会議(消防署員2名・ 警察駐在所1名・地域5名) 22日 第2回勉強会(34名・メンタルヘルス)	10日 前田小学校運動会(13名) 13日 地域奉仕活動(10名・桜堤公園) 18日 利用者健康診断 26日 総合避難訓練、地震想定(消防署合同) ※一泊旅行2グループ(14名・岩手、男鹿)
6月	6日 やまね会草刈りボランティア (後援会18名・職員19名) 15日 第1回北秋田まち美化活動(14名) 17日 トロミ食品の勉強会(24名) 19日 職員全体会議、AED業者による説明会 25日 砂防ダム視察(県、市職員6名) 26日 第3回勉強会(32名・日中活動)	12日 地域奉仕活動(9名・神成地区) 16日 前田保育園児サマ芋植え交流(22名) 17日 県北球技大会 (11名・大館樹海ドーム) 20日 思いやり自治会臨時総会(76名) ※一泊旅行2グループ(26名・八戸、青森)
7月	16日 第三者評価訪問 (利用者聞き取り、職員説明会) 23日 第三者評価に伴う経営層会議 24日 第4回勉強会(27名・虐待防止)	4～5日 さわやか街一泊キャンプ(6名・妖精の森) 7日 ナイスハートふれあいスポーツ(3名・能代) 15日 県北レクリエーション大会(29名・大館樹海ドーム) 18日 交通安全教室(56名・四季美館交差点前) 19日 東地区夏祭り(26名・民生委員5名) 21日 土砂災害避難訓練(四季美館へ) 29日 地域奉仕活動(7名・前田駅前自治会館前) ※一泊旅行2グループ(19名・山形、青森)
8月	3日 第2回北秋田まち美化活動(16名) 8日 やまね会草刈りボランティア (後援会12名・ボラ1名・職員16名) 11日 一時帰宅(東京方面15名・県内3名) 21日 第5回勉強会(27名・外部講師による口腔ケア) 28日 夜間避難訓練(集合訓練) 31日 新人職員研修(8名・2施設)	7日 たなばた火祭り(8名・阿仁前田河川敷) 8日 地域奉仕活動(7名・前田駅前自治館前) 11日 残園者日帰り旅行(35名・本体) 12日 残園者日帰り旅行(15名・東地区) 22日 アルミ缶収益地域還元(2名・浦田地区) 28日 夜間避難訓練 30日 思いやり自治会バーベキュー(35名)
9月	5日 家族懇談会①(東京方面・20家族25名) 12日 家族懇談会②(東京方面・14家族17名) 15日 無断外出捜索訓練 17日 第三者評価による訪問調査 18日 外部会計監査 19日 家族懇談会③(県内・5家族6名) 26日 やまね会草刈りボランティア (後援会14名・職員13名) 28日 合川新生園来園(利用者4名・職員2名)	8日 敬老式(2名・森吉スポーツセンター) 12日 福祉製品フェア (2名・いとく鷹巣ショッピングセンター) 13日 さわやか街ボランティア列車外出 (2名ボランティア1名) 13日 神成祭典(5名) 25日 交通安全キャンペーン(6名) ※一泊旅行2グループ(18名・宮城、青森)

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	3日 たんぽ会 (27家族43名、交楽会役員8名、後援会25名、ボランティア22名、地域住民40名、もりの郷利用者17名)	1日 思いやり自治会花植え(14名) 1日 清掃奉仕(7名・玄関ポーチ) 8日 JA主催歌謡ショー(20名)
	6日 第3回北秋田まち美化活動(19名)	13日 芋掘り交流(利用者19名、園児14名)
	7日 外部監査	18日 前田小学校学習発表会(9名)
	15日 ひばりの園法人理事施設見学 (役員12名)	19日 神成地域いきいきサロンだまっこ交流 (10名)
	28日 職員(夜勤者)健康診断 28日 職員全体会議・園内研修	28日 利用者健康診断 ※一泊旅行1グループ(8名、青森)
11月	5日 東京都委託施設連絡協議会 (当番施設:合川新生園、施設長ほか3名)	3日 思いやり自治会楽ミッション(13名・プランター片づけ)
	8日 地域合同避難訓練、夜間地震想定 (協力隊21名、本部1名、職員14名)	9日 日帰り旅行(秋田) 11日 日帰り旅行(比内)
	11日 音楽療法講習会(講師3名、職員14名)	13日 神成地区女性部だまっこ交流会(10名)
	13日 マイナンバー説明会・交流会(33名)	27日 本体夜間避難訓練
	19日 監事監査(上半期・法人)	27日 音楽療法 (講師2名、利用者9名、職員12名)
	20日 第6回勉強会(33名・福祉レクレーション) 28日 外部講師研修会「初級介護講座」 (職員24名、もりの郷3名)	29日 東地区ボランティア外出 (利用者5名、ボランティア2名、職員2名)
12月	18日 北秋田社会福祉協議会見学(6名)	4日 インフルエンザ予防接種(利用者・職員)
	18日 第7回勉強会(講師2名、職員31名) 「県庁出前講座:防災について」	5日 歳末募金(1名・秋田社会福祉会館) 5日 障害者生活支援センターXmas会(6名)
	29日 一時帰宅(東京方面9名、県内2名)	13日 思いやり自治会クリスマス会 (利用者84名、高校生ボランティア3名)
		17~27日 第1回あきたアート出品(ちぎり絵) 29日 本体残園者旅行(39名) 30日 東地区残園者旅行(18名)
1月	2日~感染性胃腸炎発生(18日終息宣言)	21日 歯科健診(利用者20名)
	15日 やまね会後援会新年会 (後援会30名、職員4名)	23日 除雪ボランティア (利用者6名、職員1名、ボランティア7名)
	22日 第8回勉強会(32名・ヒヤリハット報告)	
2月	11日 森幸園ポーチ除雪(5名)	1日 前田地区合同歳祝い(2名・四季美館)
	13日 家族会役員会	13日 除雪ボランティア(昼食交流会) (利用者7名、神成自治会1名、職員13名)
	20日 救急救命講習会(法人2名、後援会4名、職員12名・四季美館)	25日 日帰り旅行(大館)
		28日 さわやか街ボランティア交流会(ボラ3名)
3月	1日 みらい工房来園(介護用品の使用方法)	7日 ベルマーク寄贈(1名・前田小学校)
	22日 職員全体会議・園内研修会 (研修発表、イベント推進・在り方委員会報告)	13日 さわやか街ボランティア外出(ボラ1名)

平成27年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
特別養護老人ホーム 森泉荘

総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者様のサービスの向上に努めてまいりました。日々変化する利用者様の対応は個別のケアが求められており、職員個々の実践技術の向上とチームワークの取れた対応が求められております。このことから、毎日の生活が活気あるものとするため、余暇活動を積極的に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めております。

施設運営関係では、本年度から施設の基本介護報酬の引き下げが実施され、併せて介護職員の処遇改善が求められるなど、高齢者福祉の取り巻く環境もますます厳しくなっておりますが、施設管理の見直し、コスト意識の醸成など、創意工夫の上適正な運営管理に努めております。

施設事業関係では、恒例行事として敬老式を9月に開催、たくさんの来賓をお迎えし盛会裏に終えております。また、森吉山麓たなばた火まつりの見学、施設駐車場広場を開放して阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会の開催、新年会では根森田地区婦人会七福神の「福をもたらす舞」の披露など、地区の一員として地元地域事業に協力しております。

地域交流関係については、これまで懸案であった地域交流推進事業を本年度初めての取り組みとして「観桜会・環境整備事業・もちつき会」の3事業を実施しております。観桜会は、裏庭庭園において好天に恵まれ地元下前田自治会の参加により、利用者様との交流を深めております。

また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」を開催し、介護に関連したさまざまな情報を提供することができました。

(利用者の実績)

(入所率%)

	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	97.4	99.0
短期利用者	96.8	97.4
全体	97.3	98.7

重点目標

1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者様支援（介護）を大切にするため「いつも笑顔で元気よく」をモットーに職員と職員、そして職員と利用者様の間に信頼意識が生まれる環境づくり、職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めました。

2. 実践を主体とした介護

利用者様の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、個別ケア実践のため外部研修への参加や施設内研修の開催など、職員の資質及び介護技術の向上に努めました。

また、利用者様のニーズに沿った余暇活動を実施し、心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めました。

3. 衛生管理の徹底

利用者様が快適に生活できるための環境づくりを行い、おだやかに落ち着いて毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めました。

4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者様には、適切な対応を心がけました。

感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように努めました。また、利用者様一人ひとりの身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者様の尊厳を尊重し、寄り添い思いやる看護に努めました。

5. 栄養管理と食環境の保全

食事は利用者様の重要な楽しみのひとつです。常に食材等の栄養・品質管理に努め、個々の嚥下状態に応じた食事の提供、選択食や行事食も随時取り入れるなど、食事に対する意欲を引き出すよう努めました。また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めました。

6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力を得られるよう訓練に参加していただきました。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めました。

7. ご家族・地域とともにある施設

利用者様とご家族、そして地域住民との繋がりを大切にし、親しまれる施設となるよう、地域交流推進事業の開催や福祉ボランティア・介護実習生の受け入れ等を積極的に取り組みました。また、「介護教室」を開催するなど、地域に開かれた施設となるよう努めました。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4	1日 辞令交付・理事長訓示 開設記念日 6日 運営会議 16日 支援課会議 16日 平成27年度前期入所調整委員会 23日 職員会議	6日 誕生会 9日 秋田県議会議員一般選挙不在者投票 30日 フラワーアレンジメント
5	7日 運営会議 18日 支援課会議 21日 職員会議 25日 職員健康診断	2日 地域交流観桜会（下前田自治会） 5日 端午の節句 11日 理容日 14日 誕生会
6	4日 運営会議 22日 介護教室 22日 支援課会議 23日 職員会議	4日 誕生会 8日 理容日 11日 主菜バイキング 25日 前期避難訓練
7	2日 平成27年度中期入所調整委員会 2日 運営会議 5日 地域交流事業（下前田地区道払い参加） 21日 支援課会議 23日 職員会議	2日 誕生会 7日 七夕行事 13日 理容日 14日 フルーツバイキング 30日 スイカ割り
8	6日 運営会議 17日 支援課会議 20日 職員会議	3日 誕生会 7日 たなばた火祭り見学 10日 理容日 15日 阿仁前田獅子踊り見学 21日 お盆供養
9	4日 献血車来荘 7日 運営会議 16日 外部会計監査 24日 職員会議 29日 支援課会議	1日 利用者結核健診 8日 誕生会 10日 敬老式 14日 理容日 25日 三浦ハナ様 100歳内閣総理大臣祝い品贈呈 27日 十五夜行事
10	9日 外部会計監査 13日 職員会議 15日 平成27年度県北・能代山本地区相談員部会研修会（～16日） 16日 支援課会議 22日 運営会議	1日 誕生会 8日 JA千昌夫歌謡ショー 12日 理容日 15日 後期避難訓練 19日 フラワーアレンジメント

月	管理・運営関係	利用者関係
11	5日 職員会議 6日 夜勤者健康診断 16日 支援課会議 24日 運営会議	5日 誕生会 9日 理容日 27日 喫茶いずみ
12	3日 職員インフルエンザ予防接種 17日 職員会議 17日 支援課会議 18日 運営会議	3日 誕生会 3日 利用者様インフルエンザ予防接種 7日 理容日 24日 クリスマス会及び年忘れ会 28日 地域交流餅つき会（下前田自治会）
1	19日 平成27年度後期入所調整委員会 21日 支援課会議 21日 職員会議 28日 運営会議	5日 新年会&宝引大会 11日 理容日 14日 誕生会
2	18日 職員会議 18日 支援課会議 26日 運営会議	1日 誕生会 3日 節分行事 8日 理容日 16日 フラワーアレンジメント 25日 ゲーム大会 29日 前田小学校4年生訪問
3	8日 運営会議 24日 職員会議 24日 支援課会議	3日 ひな祭り行事 7日 誕生会 14日 理容日

平成27年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
複合ケアセンター もりの郷

◎総括

介護報酬減額とグループホームの利用率が低下したことにより、事業収入は前年度を大きく下回る結果になった。次期改正において、さらに報酬が減額されることが予測されるため、計画利用率を達成できるよう努めていきたい。

また、報酬のみならず今後はグループホーム、サポートホームでの重度利用者の受け入れが求められるなど、制度の要件改正もあることも見据え、今後の事業運営に当たっていききたい。

◎重点事項取り組み報告

(1) 事業運営

- ・通所介護においては、お泊りデイサービスを8月から実施することができた。介護者の体調不良、介護者の急な不在など当日の泊り希望の対応や1月からの日曜日営業などで利用しやすい事業運営を行った。
- ・兼ねてから老朽化が課題となっていた「であいの家」の建て替えについて、補助金を受け、年度末に着工することができた。
- ・グループホームを活用した、共用型デイについてはすでに実践している事業所の視察などを行い、市と協議を重ねていきたい。

(2) 地域交流・地域貢献の実践

地域の祭典、老人クラブ、子供会との交流を図り、老人クラブとの交流の際は、特殊詐欺についての講座を開催した。また、演芸ボランティアが来郷する際には、地域にも案内を出し足を運んでいただくことができた。さらに、小学校や保育園の学習発表会やお楽しみ会を見学するなど、地域に出る機会の確保に努めた。

12月から週に1回、もりの家において地域サロンを行い、利用者とお茶会のほか、創作活動や簡単クッキングを実施している。今後も、実践内容を検討しながら、介護予防の役割を担っていききたい。

(3) 事故防止への意識の向上

事故報告は全事業所で51件と発生件数はわずかな減少に止まっているが、事故による受診件数は2件と減少した。毎年、4月の年度当初及び7月、8月に事故が多く委員会で注意喚起したが、減少には至っておらず、次年度の重点課題として取り組んでいきたい。

(4) 資格取得・資質向上に向けた取り組み

資格取得については、介護福祉が士8人受験し5人の合格、介護支援専門員は3人受験し1人の合格となっている。介護福祉士については経験年数で受験できる最後の年度となり、今後は経験年数に加え450時間の学習や9日間程度のスクーリングが必要となる。要件が厳しいうえに受講の経費も増えるため、受講しやすい体制作りが課題となってくる。

施設内研修については、マンネリ化している、即支援に結びつき役立った等のアンケート結果を次年度の研修計画に反映させ、資質の向上につなげていきたい。

(6) 経費の削減

消耗品の短期間での見積もり、リース物件の自動更新の見直しや複数年契約を止め単年契約にするなど、より安価な契約を結べるように努め経費の削減を図った。今後ますます経営が厳しくなることから、経費削減に努力していききたい。

◎各事業所実績報告 (%)

事業所名	平成27年度計画	平成27年度実績	前年度実績
GH もりの郷	98.0	96.8	99.1
もりの家(さくら)	98.0	97.1	98.7
もりの家(コスモ)	98.0	98.7	95.4
デイサービス	80.0	79.1	76.6
サポートホーム	98.0	98.1	98.1

◎各事業所取り組み報

1. グループホームもりの郷

前年度に比べ入退居が多く、それに伴い利用率も低下した。

大きな事故や怪我には至っていないが、転倒や誤嚥等の事故報告があった。常に利用者の行動や危険の予測をしながら、事故やヒヤリ・ハットが少なくなるよう努めていきたい。地域交流としては地域祭典、避難訓練、その他各種行事を通して前田駅前自治会や老人クラブ、小又婦人会、平里自治会、前田小学校、前田保育園など近隣住民とのかかわりを持つ事ができ、もりの郷へ足を運んでもらう機会も増えた。今後も利用者が地域社会への関心を継続できるように様々な形で地域交流を図っていきたい。

2. グループホームもりの家（さくら館）

今年度は、状態の急変に伴う退居が続き利用率の低下を招いた。また、転倒等の事故も前年度より多く発生してしまい、状態に応じた対応の仕方がなされていなかったことが要因として挙げられた。新しい利用者の無届外出に関しては、コスモス館職員との連携を図り、付き添いで手薄になる時はコスモス館職員の応援を仰ぐことにより、利用者が納得できるまで付き添うことができた。

地域交流では、米内沢小学校の学習発表会を見学し、利用者にも学校側にも喜んでいただくことができた。発表会を機に、認知症サポーター養成講座も行う事ができた。今後も地域とのつながりを大切にしていきたい。

3. グループホームもりの家（コスモス館）

今年度は、利用者の方々に寄り添い、傾聴心を持ち、サービスの低下を招かないように安全・安心を心掛けたサービスの提供を行なった。

また、ケアプランに関しては定期的にカンファレンスを開き利用者の方々が望んでいるサービスを追及し実践した。

外出に関しては、利用者全員の外出や個別外出に取り組み、担当職員が事前に利用者とは話し合いを行い、出来る限り本人の要望を満たすよう努めた。

地域交流に関しては、12月から週1回地域サロンの活動を開始した。地域の方が訪問する事が、利用者にとってよい刺激となっている。今後も活動内容を検討し、新しい事を取り入れながら地域に根付いた活動にしていきたい。

4. デイサービス

年間を通しての平均利用率は79.1%であった。新規利用者の増加やお泊りデイ利用にて8月以降は80%を上回る月が続いたが、冬季の短期入所利用や入院により利用率が低下し、計画の80%に達することができなかった。

次年度は、地域密着型に移行することもあり、地域交流も含めた関わりを実施すると共に、冬季の利用率低下を課題として捉え新規利用者の確保に努めたい。

5. サポートホーム

(1) もりの郷

日常生活においては、利用者の精神面の支援に心がけ、会話を多く持ち、情緒の安定を図ることで利用者間のトラブルも殆どなく、比較的落ち着いて過ごすことができた。

健康面では、血圧の変動など体調に変化をきたすことが増え、受診の支援も多くなってきている。今後も状態の変化に気を配り、早期に受診することで重度化しないように支援していきたい。

(2) であいの家、陣場岱ハイツ

生活面では、利用者間のトラブルは殆どなかった。昨年度より実施している陣場岱ハイツの夜間の保安（18時30分～20時30分）を継続して行い、職員やパートを配置することで利用者が安心して生活することが出来、トラブルや物損事故がかなり減少した。地域奉仕活動（クリーンアップ）は、利用者が協力して積極的に取り組み、意欲が感じられるようになってきた。

火災想定避難訓練では、近隣の方にも協力をお願いして、利用者の安否や人員の確認の他、消防署への緊急電話連絡など利用者に代って行ってもらいスムーズに避難することができた。今後も地域の方々や家族との連携を密にして、安心して地域での生活が送れるように支援していきたい。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	16日 消防本部実態調査 25日 SH家族会総会 (5家族・6人参加) 25日 運営会議	18日/19日 クリーンアップ実施 24日～30日 観桜会 (GH・DS) (国花苑・桂城公園・阿仁河川公園)
5月	15日 運営会議 20日/25日 地域運営推進会議 (GH) 26日 第1回施設内研修 「介護技術」	4日 さくら・コスモス合同観桜会 6日 SH合同ドライブ (大瀧村) 16日 もりの郷合同ツツジ見学 (能代公園) 21日 ピクニック (北欧の杜・GH郷) 28日 北欧の杜歩こう会参加 (GH家)
6月	9日 もりの家深夜想定避難訓練 (地域5人) 11日 前田駅前祭典実行委員会打ち合せ 14日 平里婦人会草取りボランティア (8人) 17日 もりの郷深夜想定避難訓練 (地域4人) であい避難訓練 (地域1人) 24日 ハイツ避難訓練 (地域1人) 19日/23日 第2回施設内研修 「口腔ケアと嚥下」 19日 運営会議 25日 職員・SH利用者健康診断	6日 もりよし荘もりりんピック参加 (28人) 15日 ピクニック (北欧の杜・GH家) 20日 利用者自治会臨時総会 (SH) 21日 前田駅前祭典 (神輿・民謡・踊り見学 (模擬店出店・演芸観賞)) 23日 もりの家外出 (ブルーメッセ) 28日 SHカラオケ大会 29日 GH郷・DS外出 (小坂・八森方面)
7月	13日/15日 地域運営推進会議 (GH) 17日 運営会議 21日/28日 第3回施設内研修 「高齢者・障害者疑似体験」 26日 もりの郷炊き出し訓練	6日 もりの家外出 (八森方面) 9日/23日 あじさい見学 (GH郷・家) 12日 妖精の森デイキャンプ (SH) 15日 県北レクリエーション大会 (SH10人) 18日 もりの郷合同昼食会 20日～25日 田んぼアート見学 (DS)
8月	3日 利用者結核検診 (GH) 19日 運営会議 25日 第4回施設内研修 「ひもときシート活用法」	4日～27日 田んぼアート見学 (GH) 6日 地区ねぶ流し (ハイツ・であい) 子供会との交流会 (GH家) 7日 阿仁前田火祭り・花火鑑賞 (駐車場にて模擬店出店) 11日～17日 SH夏期一時帰宅 (10人) 12日 SH残郷者日帰り旅行 (森吉山荘) 13日 DS郷外出 (能代方面) 15日 獅子踊り見学 (森泉荘)
9月	5日 SH家族懇談会 (4家族・5人参加/東京) 15日/25日 第5回施設内研修 「感染症対策」 19日 SH家族懇談会 (1家族参加/県内) 18日 運営会議 28日/30日 地域運営推進会議 (GH) 26日 小又婦人会ボランティア (7人) 27日 GH 家族総会 30日 全体会議	10日 田んぼアート見学 (田舎館村) 8日 森吉地区敬老式 (GH郷6人・家4人) 12日 もりの郷合同敬老を祝う会 (GH・SH・DS) 阿仁風張太鼓もりの郷訪問 13日 米内沢駅前祭典・地域交流会 (模擬店出店・演芸) 神成地区祭典・地域交流会 (神輿・模擬店出店) 17日 DSピクニック 前田小学校相撲大会見学 27日 GH3ユニット敬老を祝う会 阿仁風張太鼓もりの郷訪問

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	16日 運営会議 18日 もりの郷水害想定訓練(森幸園に避難) 20日/27日 第6回施設内研修 「困難事例検討」 21日 であいの家避難訓練(地域1人) 25日 もりの家水害想定訓練(もりよし荘に避難) 26日 陣場岱ハイツ避難訓練(地域1人) 29日 であいの家建て替えヒヤリング(県) 31日 もりの家深夜火災想定訓練(地域6人)	3日 森幸園たんぼ会参加(SH17人・GH郷9人) 9日 JA秋田北央歌謡ショー鑑賞(GH8人) 15日～26日 各事業所紅葉ドライブ (田沢湖・藤里・八森・森吉山荘) 18日 米内沢小学校学習発表会見学(18人) 25日 クリーンアップ(GH・SH) 28日 米内沢駅前老人クラブとの交流会 (12人参加) 福祉講座開催「特殊詐欺について」
11月	5日 もりの郷深夜火災想定訓練(地域2人) 12日/25日 地域運営推進会議(GH) 17日/24日 第7回施設内研修 「リハビリテーションについて」 27日 介護サービス情報訪問調査(GH家) 運営会議	4日 もりの家外出(弘前方面) 11日 前田駅前老人クラブとの交流会 (10人参加) 福祉講座「特殊詐欺について」 13日 さくら館開設記念昼食会 23日 北秋田市バリアフリー交流会(SH) 25日 前田小学校職場体験(5人) 27日 手作り昼食会(DS) 23日 SHカラオケ大会(クインズ/9人)
12月	4日 SH利用者インフルエンザ予防接種 夜勤者・SH利用者健康診断 15日/22日 第8回施設内研修 「障害者施設における虐待とは」 18日 運営会議 北秋田市社協もりの郷見学(6人) 25日 小又婦人会ボランティア(8人)	2日 もりの家地域サロン開始(週1回) 5日 前田保育園お楽しみ会見学(13人) 13日 SH思いやり自治会クリスマス会 19日 角館おやま囃子もりの郷訪問(8人) 地域からの見学(19人) 21日～25日 各事業所クリスマス会 27日 もりの家餅つき(地域2人参加) 28日 もりの郷餅つき(老人クラブ7人参加) 29日～5日 SH利用者一時帰宅(12人) 23日 SH残郷者日帰り旅行(森吉山荘)
1月	13日/20日 地域運営推進会議(GH) 19日/29日 第9回施設内研修 「ストレスチェック制度」 27日 認知症サポーター養成講座 米内沢小学校(生徒55人/教員7人) 28日/31日 各事業所炊き出し訓練 30日 運営会議	7日/8日 各事業所新年を祝う会 18日/19日 お楽しみおやつ会(DS) 23日 鷹巣レクダンスサークルもりの家 訪問(12人)
2月	16日/23日 第10回施設内研修 「困難事例症例検討」 23日～25日 各事業所炊き出し訓練 26日 運営会議 27日 合同地域運営推進会議(GH)	3日 各事業所節分行事 20日 もりの郷合同昼食会 柏木妙子民謡教室もりの郷訪問(5人) 地域からの見学(20人) 25日 虹色パレットもりの郷訪問(6人)
3月	18日 運営会議	2日/3日 琴・オカリナ演奏ボランティア(3人) 3日 各事業所ひなまつり行事 19日/21日 手作りおやつ会(DS) 23日 虹色パレットもりの家訪問(3人) 26日/27日 SH慰労会